

## 妊娠実態調査分科会議事録

分科会長名 慈恵医大 教授 蜂屋祥一

### 第一回 (A)

日 時：昭和55年9月2日 午後2:00～4:30

場 所：山口県宇部市民会館（不妊学会）

出席者：蜂屋祥一、久慈直志（慈恵大・産婦）

　　福田 透、飯沼博朗（信州大・〃）

　　関場 香、工藤尚文（岡山大・〃）

　　杉山陽一、西山幸男（三重大・〃）

　　滝 一郎、浜田悌二（九州大・〃）

　　八神喜昭、水野金一郎（名市大・〃）

　　古橋信晃、安部徹良（東北大・〃）

班長 鈴木雅洲 （〃〃）

### 議事

#### 1. 分科会長挨拶

#### 2. 研究計画及び報告

1) 信州大：妊娠中毒症発生実態、治療管理法について研究中

2) 岡山大：妊娠中毒症実態、特にG・Iによる分類とその効果について研究中

3) 東北大：過去及び現在の中毒症の発症実態とG・Iによる分類、合併症について研究中

4) 慈恵大：妊婦糖尿病の発生状況、危険、スクリーニング、HbA<sub>1c</sub>、児死亡を研究中

5) 九州大：慈大と同じ。及び管理法の改善について研究中

6) 三重大：慈大と同じ。及び結合型及び総エストロゲン値の研究

7) 名市大：慈大と同じ。及び管理法の改善とそれに伴う児の内分泌について研究中

#### 3. 通達事項

　　報告方式、経理計画の細目への注意

#### 4. 閉会

### 第一回 (B)

日 時：昭和55年9月3日 午前10:30～午後0.30

場 所：大阪市大阪グランドホテル（小児内分泌学会）

出席者：蜂屋祥一、久慈直志（慈恵大・産婦）

　　北川照男 （日本大・小児）

　　大浦敏明 （大阪市立小児保健センター）

　　大村 清「多田 代」（東北大・小児）

### 議事

#### 1. 分科会長挨拶

#### 2. 研究計画及び報告

1) 日本大：代謝異常症妊婦の取扱い、特に妊婦クレチニン病の予備的研究

2) 大阪児保健センター：高フェニールアラニン血症を含むPKU母体の調査研究

3) 東北大：ヒスチジン血症母体のスクリーニング及び分娩の母児に対する研究

#### 3. 通達及び協議事項 略

## 第二回

日 時 昭和56年3月5日 午後2:30～7:00

場 所 東京慈恵会医科大学

高木会館A会議室

出席者 (○印発表者)

蜂屋祥一, ○久慈直志, 恩田誠一(慈大・婦)

○関場 香 (岡山大・婦)

福田 透, ○飯沼講師, 堀口助手(信州大・婦)

○滝 一郎, 浜田悌二講師 (九州大・婦)

○古橋信晃 (東北大・婦)

八神喜昭, ○中谷, 鈴森助手 (名市大・婦)

杉山陽一, ○村田和平 (三重大・婦)

○大浦敏明 (大阪市立小児保健センター)

多田啓也, ○鎌田拓助手 (東北大・児)

北川照男, ○崎山武志助手 (日本大・児)

## 議事

### 1. 分科会長挨拶

### 2. 研究報告

- 1) 信州大：妊娠中毒症の発生実態の年次変化、取扱法改善による効果、特に低カロリーによる治療の研究
- 2) 岡山大：妊娠中毒症の発生状況、E P H ゲストーンス及びG I による再分類に基づく治療効果の研究
- 3) 東北大：G I による過去、現在の中毒症発生率、重症度、治療効果の研究
- 4) 慎恵大：他施設の発生率の比較、スクリーニング法、H b A , 胎児に及ぼす母体血液ガス値についての研究
- 5) 三重大：発生頻度、管理法、血中結合型及び総エストロゲン測定の研究
- 6) 九州大：管理基準の達成度、段階別表示、それに基づく新生児の状況の研究
- 7) 名市大：管理下新生児血中の内分泌、特にインスリン、G H、副腎ホルモンの研究
- 8) 日大(児)：アミノ酸代謝異常症妊婦の状況。クレチニン病妊婦の検索についての研究
- 9) 東北大(児)：ヒスチジン血症妊娠のスクリーニングとその結果についての研究
- 10) 大阪・児・健・センター：P K U 母体から出生した児の研究。P K U 母体の危険性についての日本での調査の研究

### 3. 閉 会